A large teal circle on the left side of the page, partially overlapping a larger blue circle that forms the background for the main text area.

国内上場企業1,000社の環境経営開示情報を 網羅した無料サイト『エコノート』の 使い方・使われ方

ブルードットグリーン株式会社 取締役社長 八林公平（旧姓：仲埜）

2022年7月6日

目次

- | | |
|-----------------|----|
| 1. スピーカー紹介・会社概要 | 03 |
| 2. エコノートご紹介 | 09 |

1. スピーカー紹介・会社概要

1-1. スピーカー紹介

八林 公平（旧姓 仲埜）



2006年	国際基督教大学卒
2006年～2010年	環境省
2010年～2018年	北海道下川町役場
2018年～現在	一般社団法人集落自立化支援センター代表理事
2020年～現在	ブルードットグリーン株式会社 取締役社長
ほか現任	高知大学地域協働学部 非常勤講師 一般社団法人徳島地域エネルギー 顧問

1-2. 会社概要

ブルードットグリーン株式会社

[住所] 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル10階

[設立] 2011年11月

[資本金] 1,000万円

[株主構成] 株式会社エスプール (100%)

[事業] TCFD対応コンサルティング/CDP回答支援コンサルティング/
GHG排出量 (Scope1,2,3) の算定/カーボンオフセット事業

株式会社エスプール (東証プライム市場2471)

[設立] 1999年12月

[資本金] 3億7,220万円 (2021年5月末現在)

[売上] 売上：248億円 (2021年11月末現在)

[事業] 人材アウトソーシングサービス/障がい者雇用支援サービス
ロジスティクスアウトソーシングサービス/求人応募受付代行サービス

1-3. 事業内容

＼知って・減らして・オフセット／
企業の環境経営に関するお悩みをサポート

Service 1 企業の環境経営を支援

<div style="background-color: #0072bc; color: white; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: left; padding: 5px;"> STEP 01 </div> </div> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">「知って」</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <p>自社のCO2排出量を正確に把握</p> </div> <p style="font-weight: bold; margin-top: 10px;">▶CO₂排出量算定支援</p>	<div style="background-color: #0072bc; color: white; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: left; padding: 5px;"> STEP 02 </div> </div> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">「減らして」</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <p>企業活動を通じてCO2排出量の削減</p> </div> <p style="font-weight: bold; margin-top: 10px;">▶排出量削減コンサルティング</p>	<div style="background-color: #0072bc; color: white; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: left; padding: 5px;"> STEP 03 </div> </div> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">「オフセット」</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <p>削減出来ないCO2をクレジットで相殺</p> </div> <p style="font-weight: bold; margin-top: 10px;">▶カーボンオフセット支援</p>
--	---	---

Service 2 環境経営に関する情報開示を支援

自社の気候変動対策を投資家へ正しく情報開示

▶気候変動リスク分析・情報開示支援

1-4. コンサルティングメニュー

専門性の高いメンバーと豊富な支援実績により、
お客様のご状況に合わせたサービスの提供が可能です。

GHG排出量算定 コンサルティング

排出量算定範囲・データ収集に関するアドバイザリー
算定実務支援

第三者検証取得サポート（検証機関のご紹介がメインとなります）

CDP回答 コンサルティング



昨年回答の失点要因分析・回答のためのフォーマット提供
回答改善のためのアドバイザリー、回答文書支援
回答対象年度の模擬採点の実施

TCFD開示対応 コンサルティング

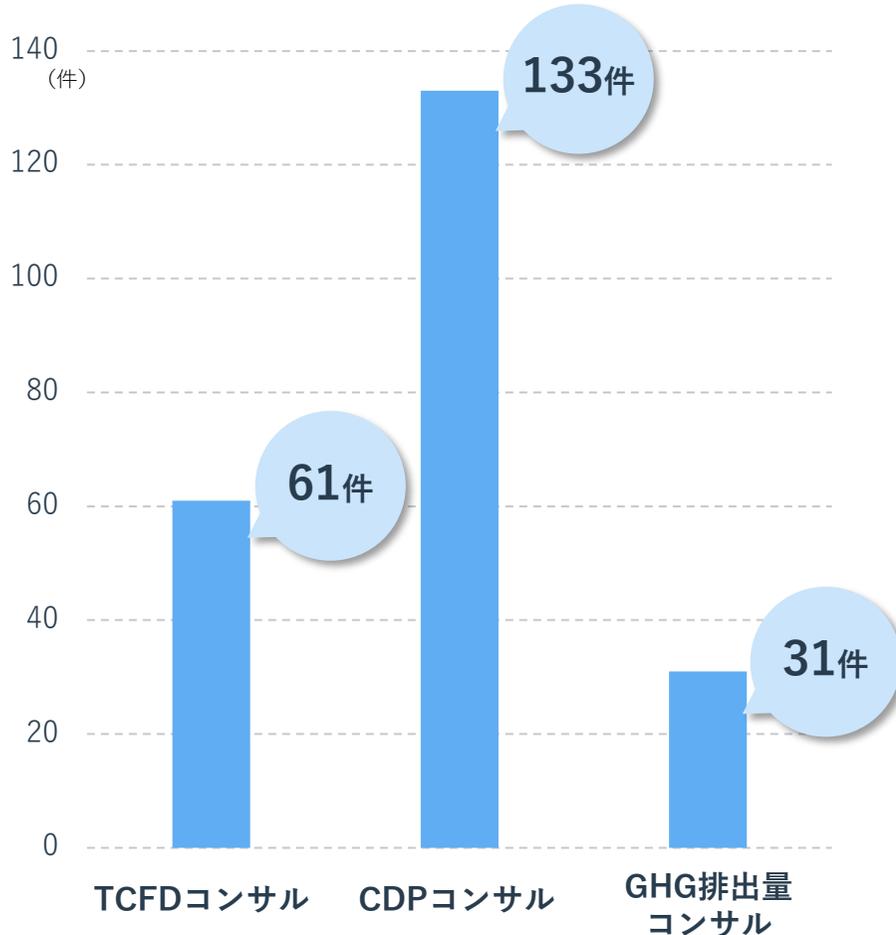


ガバナンス・リスク管理体制整備支援
気候変動におけるリスク・機会の特定及び影響金額分析支援
TCFD開示文書草案作成支援

1-5. 当社実績と強み

CDPスコアリングパートナーとして気候変動関連の情報開示において高い実績を有しています。幅広い業界・規模のお客様にスピーディーかつ確かなコンサルティングサービスを提供しています。

— 受注実績 —



— 導入企業様 (一部抜粋) —

 Asahi <small>アサヒグループホールディングス株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 A → A 水セキュリティ A → A (2020-2021) 2021年・2022年	 Eisai <small>エーザイ株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 B → A- 水セキュリティ F → A (2020-2021) 2021年・2022年	 住友金属鉱山 <small>住友金属鉱山株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 B → A- (2020-2021) 2021年・2022年
 日本化薬 <small>日本化薬株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 B- → B (2020-2021) 2021年・2022年	 エフピコ <small>株式会社エフピコ</small> CDP回答支援 気候変動 B- → B (2020-2021) 2021年・2022年	 ZEON <small>日本ゼオン株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 C → B (2020-2021) 2021年・2022年
 sawai <small>サワイグループホールディングス株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 C → B (2020-2021) 2021年・2022年	 青山商事株式会社 <small>青山商事株式会社</small> CDP回答支援 気候変動 D → B (2020-2021) 2021年・2022年	

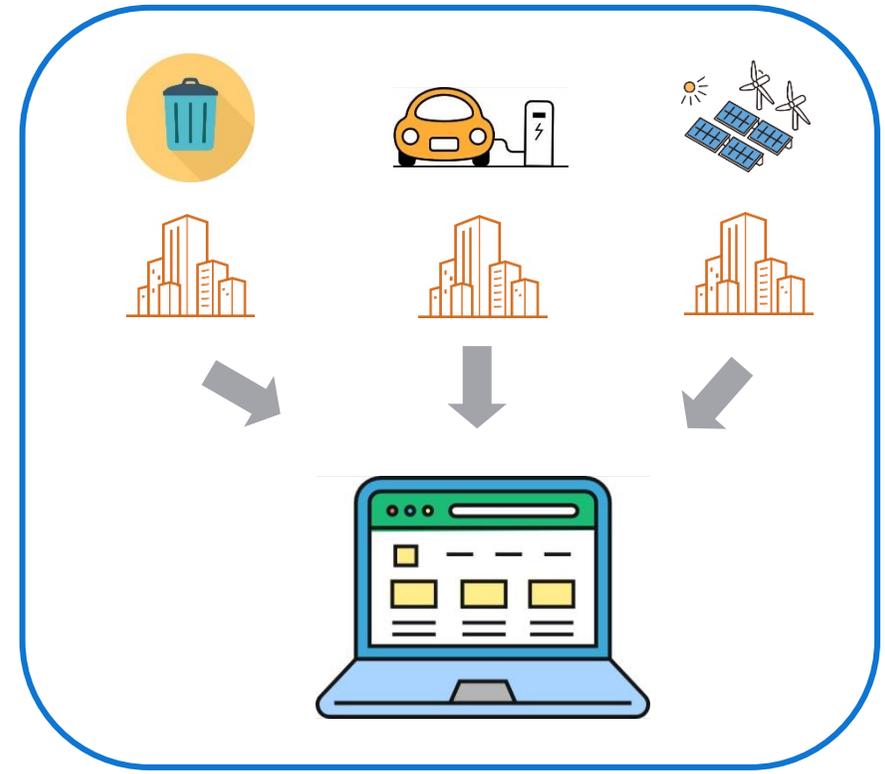
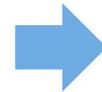
2. エコノート紹介

2-1. エコノート制作背景

企業に環境経営が求められるなか、自社担当者としてサステナビリティ推進部署に異動したものの、何から手を付けるべきか悩みを抱える担当者が多い。

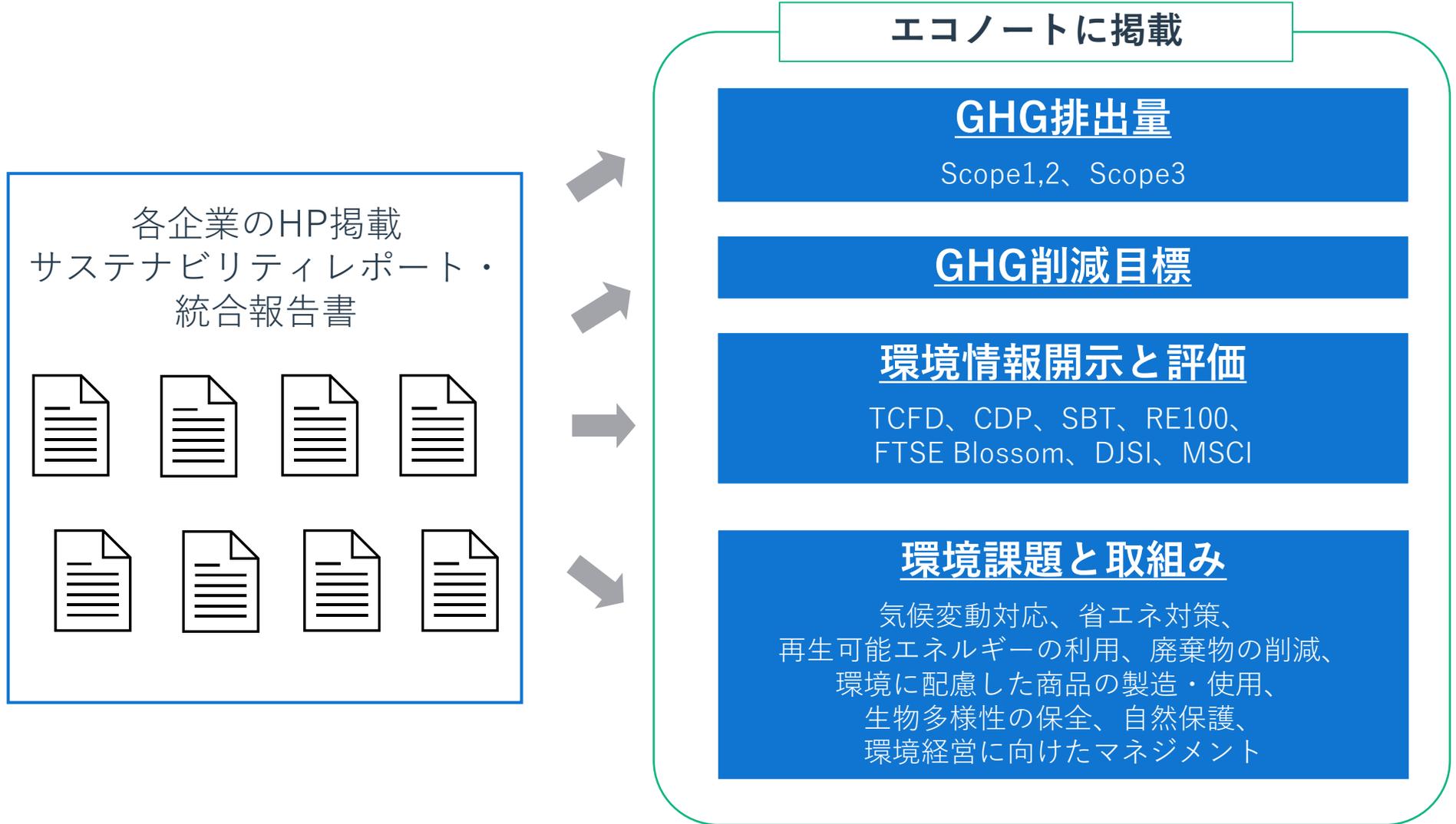
気候変動、生物多様性、廃棄物…
企業の対応事項は増すばかり…

各企業の取組みを
まとめて見られるサイトを作ろう！



2-2. エコノート掲載内容

各企業HPやサステナビリティレポート等の開示情報を分かりやすく統一フォーマットで整理！



2-3. エコノートは便利機能まで完全無料

誰でも無料で掲載企業の全データを閲覧でき、閲覧に便利な機能も無料会員登録で使用可能！

登録なしでも
企業名検索が可能

無料登録で
業種や売上規模等の
ソート検索が可能

無料登録で
項目ごとに
並べ替えも可能

企業検索 | 環境経営情報サイト

econote.jp/companies?name=&industry_id%5B%5D=7&market_capitalization_min=5000&market_ca...

エコノート

企業名から探す 検索 詳細条件から探す 業種別統計 マイページ ログアウト

業種: 化学 | 時価総額: 5000億円～億円 | 売上高: 下限なし～上限なし | 上場区分: プライム | 環境への取り組み: 気候変動対応 | 検索

11 件の企業が見つかりました。

企業名	業種	時価総額	売上高
信越化学工業株式会社	化学	7兆7,000億円	1,496,906百万円
富士フィルムホールディングス株式会社	化学	2兆9,300億円	2,192,519百万円
旭化成株式会社	化学	1兆4,733億円	2,106,011百万円
株式会社三菱ケミカルホールディングス	化学	1兆800億円	3,257,535百万円
日本酸素ホールディングス株式会社	化学	9,733億円	818,238百万円
日産化学株式会社	化学	9,184億円	209,121百万円
住友化学株式会社	化学	8,518億円	2,286,978百万円
J S R 株式会社	化学	7,764億円	446,609百万円
株式会社コーセー	化学	7,388億円	224,983百万円

2-4. エコノートで気になる企業情報をチェック

投資家から問合せが増えているScope3傾向も一目瞭然。同業他社が対象としているカテゴリも把握可能！

株式会社三菱ケミカルホールディングス

2022年04月08日 更新

上場区分	プライム	業種	化学
時価総額	1兆800億円	売上高	3,257,535百万円

GHG排出量

環境情報開示と評価

環境課題と取り組み

GHG排出量

(単位：t-CO2e)

年	Scope 1,2	Scope 3
2017	14,815,000	49,640
2018	14,187,000	49,260
2019	16,629,000	51,820
2020	15,325,000	51,930
対象範囲	主要4事業会社（三菱ケミカル、田辺三菱製薬、生命科学インスティテュート、日本酸素ホールディングス）およびその国内および海外グループ会社	主要4事業会社（三菱ケミカル、田辺三菱製薬、生命科学インスティテュート、日本酸素ホールディングス）およびその国内および海外グループ会社

Scope1+2
Scope3
同業者の傾向が明確

対象範囲も明記

2-5. イニシアティブ参加やスコア情報もまとめて掲載

TCFDの開示状況やCDPスコアをはじめ、SBTやRE100などのイニシアティブやESG指数についても掲載！

イニシアティブ	評価
TCFD	賛同 経済産業省「TCFD賛同企業・機関一覧」より (2022年05月18日時点) TCFDに沿った情報開示 https://www.sony.com/ja/SonyInfo/News/Press/201905/19-046/
CDP (気候変動2021)	A CDP「気候変動レポート2021 簡易版」より (2022年05月18日時点)
CDP (水セキュリティ2021)	A CDP「水セキュリティレポート2021」より (2022年05月18日時点)
SBT認証	認証取得済み 環境省「国際的な取り組み」より (2022年05月18日時点)
RE100	参加 環境省「国際的な取り組み」より (2022年05月18日時点)
FTSE Blossom	3.9

TCFD開示有無は多くのプライム企業が他社動向を注視

気になるインデックス評価も一覧に加えました

2-6. さまざまな対策も引用掲載

各企業が実績として行ってきた環境への取組み詳細を掲載。これから行う具体的なアクションの参考に！

ソニーグループ株式会社 | 環境経営情報 ×

econote.jp/companies/detail/956

環境課題と取組み

カテゴリ	取組み詳細
気候変動対応	<ul style="list-style-type: none"> ソニーは、事業活動ならびに商品・サービスのライフサイクル全体で温室効果ガス排出量ゼロを目指します。それに向けて、使用するエネルギーについて、徹底した省エネ化と可能な限りの再生可能エネルギー導入が求められています。事業所における使用電力量の削減と太陽光発電設備等の設置推進、および製品・サービスにおけるエネルギー利用効率の最大化とともに、製造委託先や原材料・部品サプライヤーなどのサプライチェーンに対しても同様の取組みを働きかけ、直接的・間接的な温室効果ガスの排出量削減に努めます。なお、最終的に排出抑制が不可能な温室効果ガスについては、排出量を相殺する方法も検討していきます。
省エネ対策	<ul style="list-style-type: none"> ソニーは国内外において環境への配慮を常に意識し、製品だけでなく多様な生産にかかわる環境負荷を低減する取組みをおこなっています。 ソニーデバイステクノロジー（タイランド）では、半導体の組み立てと出荷がおこなわれています。「部分空調」システムを採用して空気の流れを見直すと共に、冷水の温度を高く設定することで、以前よりも大幅に少ないエネルギーでクリーンルームをコントロールすることが可能になりました。 環境負荷の低減に向けたソニーの努力は、製品が生まれる時点から始まります。例えば、CMOSイメージセンサーが生産されるクリーンルームには非常に高性能の空調装置が必要です。ソニーの高度なテクノロジー製品の生産に必要な極めて高い水準の生産空間を維持しつつ、クリーンルームのエネルギー効率を向上させるために、私たちは改善をおこなっています。
再生エネルギーの利用	<ul style="list-style-type: none"> ソニーグループは、地域に応じて最適な再生可能エネルギーの導入に努めています。日本では、グリーンエネルギー証書1を活用すると共に、再生可能エネルギー由来の電力を直接購入しています。欧州では、電力の直接購入と証書制度の活用によって、使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることが実現しました。北米では、証書と自社の太陽光発電によって、ソニーの事業所が使用する電力において再生可能エネルギーの占める割合が増え続けています。

取組み方針の引用

個別対策事例も記載
GHG関連だけでなく廃棄物や生物多様性保全なども記載

2-7. エコノートを経営の参考書にしてほしい

当社は「地球の青と緑を未来に繋ぐため 世界の企業の事業構造を変革する」というミッションを掲げ、脱炭素社会の実現に向けて事業を展開しています。

現在、多くの企業が気候変動や生物多様性などの環境課題に対し、何から実施すれば良いかわからない状態で、他社の対応状況を注視しています。

各企業担当者にはエコノートをご活用いただき、自社の環境経営にお役立ていただきたいと考えており、誰でも気軽に閲覧ができる「参考書」となるよう、全機能を無料で開放しております。

今後の展開として、

■ 掲載社数の増加

⇒プライム企業だけでなく、スタンダード・グロース等の上場企業情報を追加

■ ブログ機能を用いた環境関連情報の解説

⇒TCFDやCDPなどの概要から、サプライチェーンに脱炭素化が求められる背景など一から環境経営に取り組むための参考となる情報を随時発信

■ 公式SNSでの発信

⇒ブログの更新やピックアップした企業の取り組みをご紹介

etc…

を予定しております。

エコノートは脱炭素社会の実現に向けて、各企業の一助となれるよう今後も機能を拡充して参ります。

お問い合わせ先



<https://www.bluedotgreen.co.jp/>

ブルードットグリーン会社ホームページ



<https://www.econote.jp/>

ブルードットグリーン運営
企業様の環境経営情報検索サイト



CDPスコアリングパートナー



気候変動イニシアティブ会員



カーボンオフセット協会会員

ブルードットグリーン株式会社 取締役社長 八林公平

kyatsubayashi@bluedotgreen.co.jp